

池辺寺リポート

7
第7号
平成29年1月発行

◎「史跡池辺寺跡」の落成式を行いました！

平成24年度から4ヵ年計画で行ってきた百塚地区（史跡池辺寺跡）の整備工事が、平成28年3月にとうとう完成しました。池辺寺は悪龍を退治するために建てられたという、伝説の山岳寺院です。この池辺寺の中心地である百塚地区を、発掘調査で見つかった当時の状態が見られるように整備してきました。

そして工事完成を記念する落成式を平成28年11月14日に、百塚地区に隣接した西平山公園で行いました。落成式ではたくさんのお祝いの言葉をいただきました。また池上小学校3年生による「心さわやか池上」の合唱があり、最後にテープカットが盛大に行われました。

整備された百塚地区には説明の看板がたくさん建てられています。また山中にあるため普段はなかなか見られない金子塔と石塔も、レプリカを作って西平山公園に置いています。

みなさんぜひ、整備された池辺寺に足を運んで古代の熊本、池上に思いを馳せてみて下さい。



池上小学校児童の合唱



整備後の百塚地区



本堂の建物跡



◎ 平成 28 年の活動

○ 展示

金峰山少年自然の家にて池辺寺跡出土土器・瓦を展示中

熊本市埋蔵文化財資料室にて土器・瓦・石製品などを展示中

熊本県立美術館にて「池辺寺の歴史と名宝」(5月28日～7月3日)

○ 講演など

熊本県立美術館ミュージアムセミナー

「発掘 30 年！謎の古代寺院池辺寺」(6月 25 日)

池辺寺観音祭講話「池辺寺の歴史と謎」(9月 10 日)

西部公民館市民企画講座「探してみよう！味生池と龍」(11月 27 日)

○ 見学会・ウォーキング

JR 九州ウォーキング

「1300 年前へタイムスリップ！池上史跡ウォーク」(1月 30 日)

国史跡池辺寺跡整備完了記念式典 (11月 14 日)

熊本市歴史ウォーク「池辺寺」(11月 20 日)

見学会 (12月 1 日)

○ 地域行事

池上小学校「味生祭」(2月 14 日)



JR 九州ウォーキング



味生祭の出展の様子



百塚地区から見つかった鉄滓

○ 出土品の紹介⑦ 鉄滓

鉄製品を作ることを鍛冶といいますが、鍛冶を行うと鉄に混ざっていた不純物のかたまりが出てきます。この不純物のかたまりのことを「鉄滓」といいます。鉄滓が見つかると、そこで鍛冶を行っていた証拠になります。

池辺寺跡からは鉄滓が見つかっており、鍛冶工房も発見されました。お寺で使う金具を作っていたのでしょうか。

○ 宝物の紹介⑦ 池辺寺古文書…市指定文化財

池辺寺に宝物として代々伝わってきた 1 巻 7 通の古文書です。戦国時代の池辺寺を知ることができる貴重な歴史資料です。

写真には、7 通のうちの 2 通を載せています。上は菊池義宗からの書状で、池辺寺本堂の再興に関するものです。7 通の中で最も古いもので、享禄 4(1531) 年～天文 5(1536) 年のものと考えられます。

下は大友義鎮(宗麟)からの書状で、池辺寺の快眞に対して学頭職という職務を公認したものです。天文 21(1552) 年のものです。

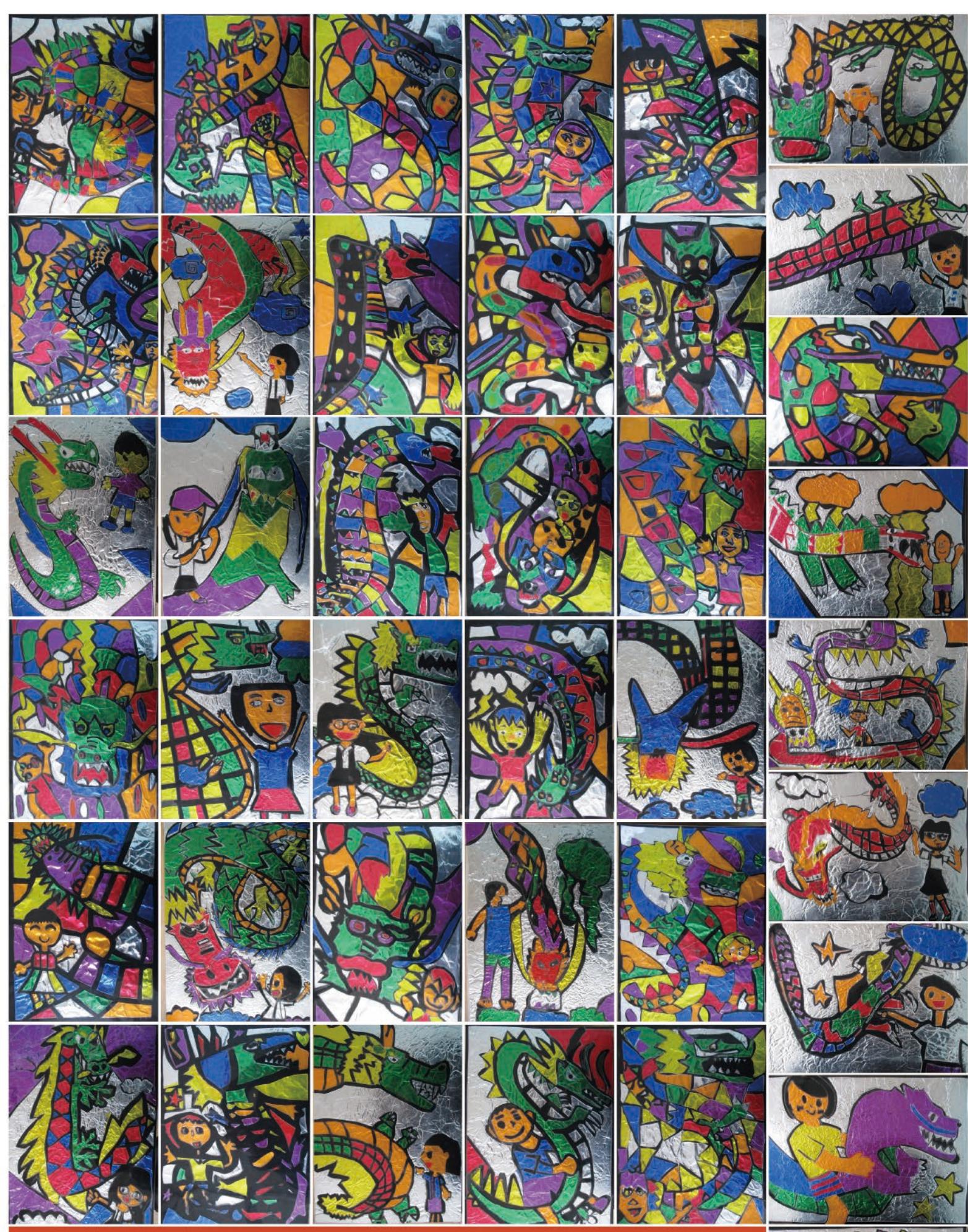
戦国時代の池辺寺が、当時の権力者とつながりを持ちながら存続していたことをうかがい知れます。



菊池義宗書状(池辺寺跡財宝管理委員会所蔵)



大友義鎮書状(池辺寺跡財宝管理委員会所蔵)



熊本市立池上小学校3年生児童(平成28年度)の作
品です。「味生池と龍」伝説を描いています。

◎ 熊本地震の影響

平成28年熊本地震では、文化財にも深刻な被害がありました。しかし整備工事が完成したばかりの百塚地区は、比較的被害が少なくすみました。沿路に段差ができたり、斜面が陥没したりした部分もありましたが、それも現在はすでに復旧することができました。金子塔も、地震で倒れたのではないかと心配していましたが、無事に元のまま立っていました。

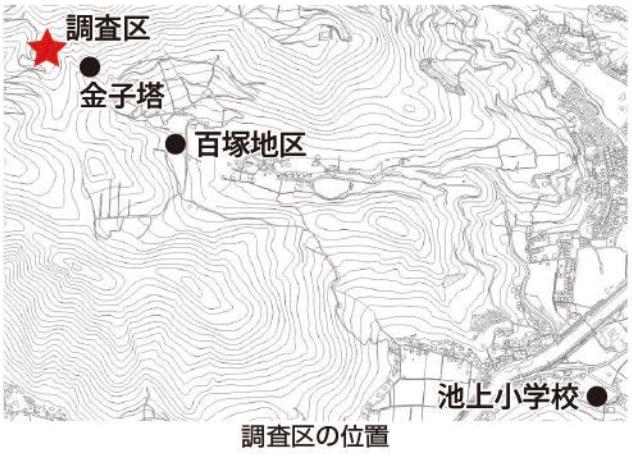
ただその一方で、最後に池辺寺があった場所である池上神社では、鳥居や住職墓などに大きな被害がありました。これらを今後どう修復していくかが重要な課題です。



沿路の段差



陥没部分



発掘調査の様子

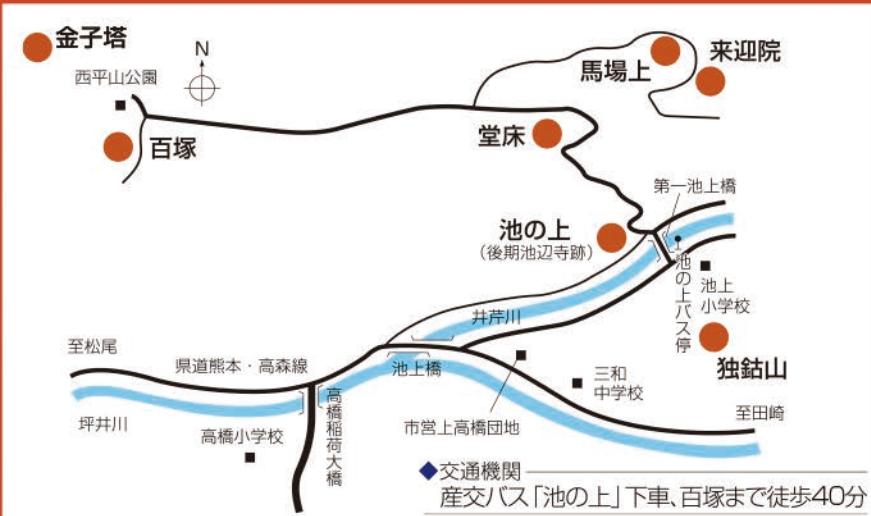
◎ 発掘調査の成果

昨年から引き続いて、金子塔から約100m離れた斜面にある石積みを調査しています。山奥にあるため、毎日調査に行くのが大変です。

この場所からは以前に長さが約15.6m、幅が約2.4mと推定される謎の大きな石積みが見つかりましたが、今回の調査ではその石積みに隣接してもう1基、石積みが見つかりました。

調査の結果、長さが約9.5mの石積みではないかと思われます。また幅はまだ不確定ですが、少なくとも部分的には約5.3mの広さがあるものと推定しています。昨年までの調査成果も合わせて、百塚と同じ平安時代初めの9世紀のものでしょう。

最近の調査で、付近の山中にこのような謎の石積みがたくさんあることが分かつてきました。



お問い合わせ

熊本市役所文化振興課
埋蔵文化財調査室

電話
096-328-2740

メール
maizoubunkazai@city.kumamoto.lg.jp